

誰もが使える“あたりまえ”を、誰にも負けない技術で。
誰もが知っている建物を、誰にも見えないところで。

建物の快適と安全という“あたりまえ”。

これからの100年も仲間と共に、社会にとって欠かせない存在であり続ける。

私たちは大正・昭和・平成・令和とそれぞれの時代において、
建物の見えないところで、なくてはならない仕事に取り組んできました。

地上350mで蛇口をひねれば水がでる。トイレが使える。
それを“あたりまえ”にしてきたことが齋久工業の誇りです。

私たちは、建物の快適と安全という“あたりまえ”を提供し、
社会にとって欠かせない存在であり続けるべく、歩んできました。

そこには、誇りとやりがいを持ち、誰にも負けない技術で
幾度もの苦難に打ち勝ってきた仲間がいました。

機械化やAI活用など、目まぐるしく変わる社会の中でも、
齋久工業は“人”を一番の財産とし、大切にしていきます。
なぜなら、これからも当社を支え、発展させていくのは、
社員であり、協力会社の仲間だからです。

齋久工業にとって、最も重要な財産は“人”です。

私たちの仕事は、建物とそこで活動する人を支える、
胸を張って誇れる仕事です。

この先もずっと、社会にとってなくてはならない存在です。

それを支える仲間一人ひとりが、夢をもって挑戦できる会社でありたい。
これからの100年も齋久工業は“人”を大切にし、
未来に向かって歩んでいきます。

2025年4月1日

